

島根7位 29年ぶり入賞

クレイ射撃

クレイ射撃トラップ団体で7位入賞した島根のメンバー(左から長岡剛、井上清、小出伸昭)―福井県立クレイ射撃場



トラップ団体

クレイ射撃

福井県立クレイ射撃場

〇島根勢の成績

トラップ団体100個 島根 249点(小出86、長岡80、井上83)

トラップ個人100個 小出 83

出伸昭86点(23、20、22、21)
井上清83点(22、20、23、18)
長岡剛80点(20、20、21、19)

〇島根勢の成績

トラップ団体100個 島根 207点(長岡82、近藤72、岩崎73)

トラップ個人100個 井上 77
ススキート個人100個 浅が 21

岩崎裕司73点(19、18、21、15)
近藤英義72点(18、19、17、15)
長岡剛62点(12、15、16、19)

最終ラウンド失速悔やむ

クレイ射撃トラップ団体で、島根(小出伸昭、長岡剛、井上清)が249点で7位に入

った。29年ぶりの入賞を果たしたが、最終ラウンドで失速しただけに、選手兼任監督の井上は「うれしさもあるが悔しさが大い。最後が情けなかった」と唇をかんだ。

1人が4ラウンド計100発を撃ち、3人の合計得点で競う団体戦。昨年は9位で、入賞を目標に5日間の長丁場に臨んだ。「気負いなく、普段通り撃とうと心掛けた」(小出)と得点を重ね、第1ラウンドでトップに立つと、第3ラウンドを終えて3位と好位置につけた。

勝負の第4ラウンドは、16日に撃った小出が21点、長岡が19点。

17日に出場した井上は「プレッシャーから力

を出せなかった」と18点止まり。2位岐阜との得点差が「3」という混戦の中、得点を伸ばせなかった。

8位だった1989年の北海道国体以来の

野真一朗78点(21、19、21、17) 田辺万寿61点(14、19、13、15) 寺井達夫77点(16、20、19、22)

入賞だが、平常心を保つことの難しさを痛感したメンバー。井上は「もっと上に行けた。来年はリベンジしたい」と誓った。